

かみくげ 恐竜の里新聞

平成23年10月25日

発行：上久下恐竜の里づくり協議会

第38号

上久下
地域づくり
センター
0795 78 0001「丹波市地域づくり
新事業」がスタート

丹波市は平成23年から27年までの5年間に「元気な地域づくり特別事業」を実施します。丹波市内の地域（25小学校区）に1050万円の交付金を支給し、各々の地域で地域づくり計画に基づき事業を実施するために必要な経費（財源）として交付されるものです。

上久下自治協議会（柳川瀬義輝会長）では地域づくり計画策定委員会を各団体代表（17名）で構成し、8月28日から10月25日までに計3回の委員会を開催して地域のかかえる弱みや地域のもつ強みなどについて意見を出し合い、地域の現状を正しく把握することから始めました。

第2回の策定委員会で若い女性の委員から「私は小さな集落に住んでいます。自治会で草刈りなどの奉仕作業を行っています。ほとんどの人が高齢者で10年先にはどうなるのだろうか」と心配でなりません」と率直な意見がでました。柳川瀬会長は「この状況は集落の大小にかかわらず共通して抱える問題。人口減少、少子高齢化、産業の衰退、働く場所が少ない、コミュニティが希薄など、

このままでは活気のないまちになってしまふ。『自分たちのまちを自分たちで良くしていく』これがまちづくりの基本だと思っています。上久下地域の自然環境、地域に根付いた文化や歴史のイベント、住む人の人情味あふれる人柄など、地域活性化への資源はいっぱいあります。なかでも5年前に発見された恐竜化石は上久下特有の資源。これら地域資源を活用して10年、20年先の将来像を想定した計画づくりに取り組みたい。地域のみなさんからも是非貴重なご意見をお聞かせください。」と話していました。

第6次発掘調査計画
発表される

人と自然の博物館（ひとはく、三田市）は10月26日、上久下地域づくりセンターで第6次発掘にかかる地元説明会を開きました。説明会では地元から20人が参加して、三枝研究員から発掘調

査日程や発掘区域の詳細説明のほか、6次発掘での期待と地元の支援・協力の要請がありました。



11月2日より岩盤除去作業に入り、12月11日から来年1月31日までボランティアが参加しての発掘調査を行う予定。発掘場所は従来の河川敷から北側に少し離れた民有地の一部を掘削し、丹波竜の未発見部位などの発見を目指します。

岩盤除去作業に先立ち、25日、作業現場に祭られている「地蔵尊」の一時移転の仏事が説宗寺（上滝）の住職によって執り行われ、ひとはく、工事業者、地元、市関係者らが参加しました。地蔵尊は一時仮置き場の丹波竜木製ミニユメントのそばで、工事の安全と調査の成功を見守ってくれることでしょう。

リレーカーニバルで新記録
下滝 細見有季さん

10月8日、丹波市内の5・6年生が青垣グリーンベルに集まり、リレーカーニバルが開催されました。たくさんの方の競技の中で4つの新記録が樹立されました。その中で、細見有季さんは800mで新記録を出し、最優秀賞を受賞しました。毎日練習に励んでいる努力が新記録を生んだと評価されています。おめでとうございます。

上久下みんなまるコンサート
開催される

上久下小学校PTA（形田雅彦会長）は10月19日、弾き語りアルパの奏者、内海淳子さんを招いて小学校体育館でコンサートを開きました。



アルパとは中南米で使われている民族ハーブで、全校児童や地域より参加で体育館満員の観客は華麗さと哀愁を併せ持つ音色の演奏に熱心に耳を傾けていました。

演奏曲は自作のものを含め、よく知られた歌を会場の皆さんと合唱したり、手拍子をうったり、また語りをいれたりして和やかな後援会となりました。

アルパの演奏を始めて聞いたという女性は「とても澄んだきれいな音に聞き惚れました。とてもよかったです。帰りにはCDを購入しました」とうれしそうに話していました。

元気村かみくげのパンフレット、 記念バッジのぼり旗を完成

元気村かみくげ（土田芳章村長）は施設内活動を広くPRするために初めて独自でパンフレットを作成し県内、近隣府県の学校、公共施設、観光案内などに配布します。

パンフレットは3つ折り、カラー刷りで恐竜焼き、グッズ、農野菜販売、化石発掘体験など紹介したり、新設の施設内の案内や元気村周辺の見所などを写真豊富に掲載しました。

今までは市や観光協会作成の宣伝媒体を活用してきましたが、「これでやっと元気村かみくげを広くPRできるようになってよかった」と組合員のひとり

は完成を歓迎していました。

また、発掘現場の地層の色

（赤褐色泥岩）

を基調としたの

ぼり旗を新調し

たり、化石発掘

体験者への記念

ツジも制作し、

来場者から喜ば

れています。



独居高齢者に昼食弁当を 上久下ボランティアグループ

上久下ボランティアグループ（代表 宇津知子さん）は10月

24日、地域づくりセンターに独居高齢者

22人を招待して、

「友愛弁当」を振る舞

いました。グループで

は年2回、友愛弁当を

配達していますが、今

年度はそのうちの一回

を地域づくりセンター

に集まってもらい一緒

に食事を楽しんでもら

うことにしました。食

事のあとは、スポーツ

クラブ 21の森田宇一

郎さん指導で囲碁ボ

ールの手ほどきを受け

たり、なごやかなひと

時を過ごされました。



松茸、今年は豊作？

地域内の松茸が今年は当たり年のようで立派に成長した松茸が元気村にも並び、遠路からの来訪者を楽しませていました。



丹波栗品評会で入賞

10月16日の丹波の森フェスティバル会場で行われた丹波市・篠山市栗振興会主催の丹波栗品評会で村上鷹夫さん（下滝）が丹波市長賞を獲得されました。3年連続の入賞です。

青田、夜の神楽舞に感動

10月9日に行われた青田自治会の秋祭りの宵宮で奉納された神楽舞の厳粛で神聖な舞を村岡正廣さん（太田）が初めて写真に収めました。村岡さんは「昼間の青田の神楽舞は過去何度か見学したが、夜の舞は初めて。幻想的な雰囲気

をかもし

出す舞に

感動した

と興奮気

味に話さ

れていま

した。写

真は11

月3日の

文化祭会

場で展示

されます。



秋の各地イベントに 恐竜焼き、化石発掘が奮闘

◆恐竜焼き

10月21日、ライフピア市島で開催された「全日本教育工学協議会全国大会

・丹波大会」に元気村から恐竜焼きが出張販売しました。全国から大会に参加した700人を超す教育者らは丹波竜の味の自慢「恐竜焼き」に舌づつみを打っていました。

◆化石発掘体験

10月9日と16日は神戸夙川学院大学学園祭と丹波の森ゴーゴーフェスタで化石発掘体験を行いました。9日の夙川学院大では学生たちに「石割り」を通じて夢とロマンの丹波竜の里をPRしました。6〜7人の女子学生が上久下地区のまちづくりを応援して発掘体験を手伝ってくれました。また、16日のゴーゴーフェスタでは150店舗に交じって化石体験が人気を博し、丹波市商工会主催のイベントの盛り上げに一役買っていました。



11月の予定

◆11月3日 第37回地区文化祭 上久下地域づくりセンター

◆11月12日 恐竜の里づくり協議会例会 7時30分

◆11月19日 山南ちーたんの館1周年記念イベント